

平成 22 年 12 月 22 日
気 象 庁

東海地震の予知手法等に関する勉強会（第 5 回）の議事要旨について

気象庁では、東海地震の予知に関する新しい知見、注目する研究等、地震の予知に関する最新の研究成果についての情報収集と意見交換を行うため、昨日、東海地震の予知手法等に関する勉強会（第 5 回）を開催しました。意見交換の要旨は次のとおりです。

1. 開催日および場所

平成 22 年 12 月 21 日（火） 気象庁（2 F）地震防災対策強化地域判定会室

2. 出席者

山岡(座長)、谷岡、加藤、武村、久田の各学識メンバー（別紙参照）

気象庁出席者：西出、横田、吉川 他

3. 議事要旨

規模の大きな地震の発生直後に地震の特徴を把握する手法について意見交換を行った。主な事項は以下のとおり。

（主な事項）

- （1）余効変動と前兆すべり（プレスリップ）を識別する方法について議論した。
- （2）地震発生後、どの程度の時間で震度や津波の観測結果が得られるか、マグニチュードやメカニズム等の解析結果が得られるかについて議論した。
- （3）地震波形をもとに迅速に震源域を推定する手法について議論した。
- （4）これまでの議論に基づいて、今年度末を目途に、報告書としてとりまとめる。

【本件に関する問合せ先】

気象庁地震火山部地震予知情報課
電話 03-3212-8341（内線）4576

東海地震の予知手法等に関する勉強会 名簿

- 座長 山岡 耕春 名古屋大学大学院環境学研究科教授
(微小地震、地震予知)
- 谷岡 勇市郎 北海道大学大学院理学研究院教授
(プレート間地震、津波)
- 海野 徳仁 東北大学大学院理学研究科教授
(微小地震活動)
- 加藤 尚之 東京大学地震研究所准教授
(プレート間地震発生のシミュレーション)
- 飯尾 能久 京都大学防災研究所教授
(内陸地震の発生予測)
- 松本 聡 九州大学大学院理学研究院准教授
(地下構造解析、地震波形解析)
- 武村 雅之 株式会社小堀鐸二研究所 副所長
(地震工学、強震動解析)
- 久田 嘉章 工学院大学建築学科教授総合研究所・都市減災研究センター長
(地震工学、都市防災)